

●製品構成・仕様



■スマートメッシュ 材質・品質規格

基布素材: 高強力ビニロン系
表面皮膜: PVC皮膜 (塩ビ系合成樹脂)
編み方: 縫糸挿入ラッセル網

編み目: 目合い8mm×8mm

繊維目付量: 280g/㎡以上

破断伸度: 5×5 (%)以上



■先端拡張式注入孔付パイプアンカー

材質: SUS304

寸法: φ6.0×L50mm

(フランジφ10mm)

フランジ部: 熱硬化フッ素樹脂加工

■座金 (ワッシャー)

材質: SUS304

寸法: t=1.0mm

■プレート

材質: AES (耐候)

寸法: 60×60×6mm

■ゴムワッシャー

材質: NBR

寸法: t1×φ30



■注入樹脂

主剤 (A液) / エポキシ樹脂

硬化剤 (B液) / ポリアミドアミン

混合比 / 主剤: 硬化剤=2:1 (重量比)



■打ち込み棒

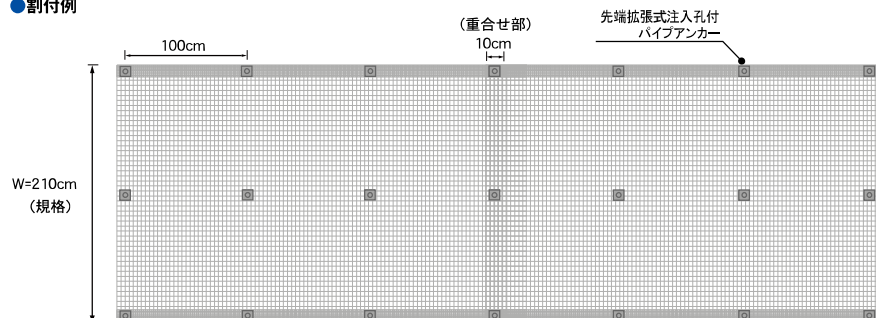
■スタティックミキサー
(樹脂注入ノズル)

■注入ガン

●試験結果

試験項目	載荷試験 (社内試験) 要求性能 1.2KN / m以上	防炎性試験	耐アルカリ性試験 (JIS L1096)	耐候性試験後の引張り強度および保持率 (JIS L1096キセノン灯光による)
試験結果	2.7KN/m アンカーピッチ 1,000mm×1,000mm	合格 (財)日本防炎協会	保持率: 縦82%、横94% 引張強度: (試験前) 縦3720N、3250N (試験後) 縦3050N、3060N	初期値 760N / 本 試験後 (7,600時間促進) 548N / 本 保持率 72%

●割付例



■販売実績

年度	～2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合計
数量 (千㎡)	282.1	17.0	47.6	28.4	24.6	16.6	14.8	11.7	5.6	4.9	453.3
主な使用機関	国交省、NEXCO西日本、NEXCO中日本、NEXCO東日本、JR西日本、JR九州 他										

■販売元・お問い合わせ先

西日本高速道路エンジニアリング四国株式会社

〒760-0072 香川県高松市花園町三丁目1番1号

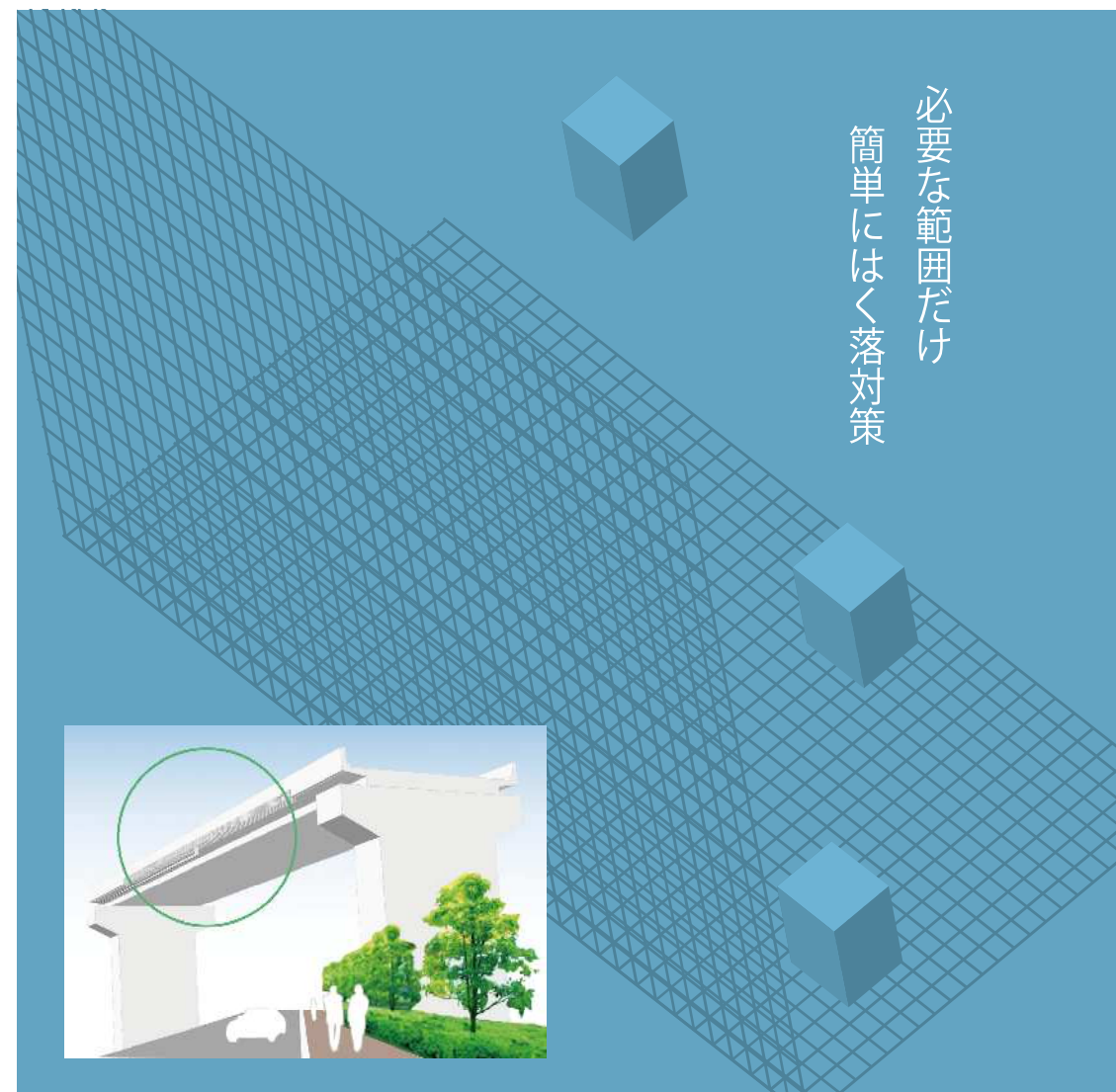
tel.087-834-1121 fax.087-834-0150

くわしくは [エンジニアリング 四国](#) [検索](#)

販売店

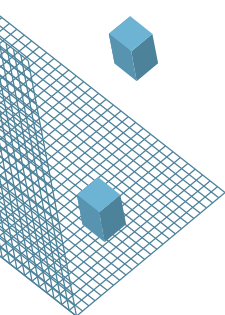
コンクリートの剥落防止対策ネット。

スマートメッシュ



必要な範囲だけ

簡単にはく落対策



丈夫で長持ち、仕上がりがスマート。 しかも、施工が簡単です。

点検でコンクリートの浮きを発見。叩き落そうとしたけど、落ちない。
安心のためはく落防止対策をしたいけど、必要な範囲だけ簡単に施工できる方法は・・・

スマートメッシュは、高強度ビニロンネットを使用したコンクリート片の剥落防止対策ネットです。耐久性、難燃性に優れ、また、通常の Cutter やハサミで切断できるため、構造物の形状を問わず施工することが可能です。打ち込み型のパイプアンカーを使用し、ネットと構造物をぴったりと固定しますので、ネットの落下もなく、鳥害の心配もありません。

特徴

丈夫で長持ち

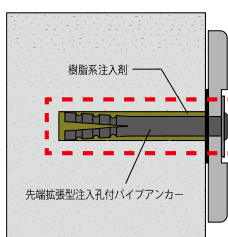
● 高強度ビニロンネットを使用

高い引張強度と細かい格子間隔で、コンクリート片の剥落を防ぎます。
PVC被膜（塩ビ系合成樹脂）加工で、耐水性、難燃性、耐アルカリ性に優れています。

● ステンレスアンカーをパイプ先端の拡張で固定

削孔穴にパイプアンカーを打ち込み、先端を拡張させることで、アンカーを確実に固定します。また、樹脂系注入剤を圧入し、コンクリート穴壁の劣化を防ぎます。

<パイプアンカー打設断面図>



<パイプアンカー組立図>



特徴

スマートな仕上がり

● 構造物にゆるまず密着

適度なやわらかさで形状を保持しながら、ゆるみなくスマートに仕上がります。

● コンクリートに馴染むグレー

コンクリートに近いグレーカラーで、より景観に溶け込みます。



特徴

簡単施工

● 構造物のすみずみまで施工可能

優れた柔軟性で、構造物の形状に合わせた施工ができます。

● アンカーを打ち込むだけで施工OK

事前に削孔し、打ち込み棒で打つだけの簡単施工。
付属物等の状況によりピッチを自由に配置できます。

● ネットの切断・加工が簡単

通常の Cutter やハサミで切断できるので、
排水管回り等の形状に合わせて施工できます。



配水管周辺も施工が容易



打ち込み棒とハンマーで打設

施工

スマートメッシュの施工方法

STEP
1

削孔
(6.5×50mm)



STEP
2

アンカー
打込・固定



STEP
3

樹脂注入
(完了)



比較

スマートメッシュと既存工法の違い

比較		工法	剥落防止ネット	スマートメッシュ
概要 図 特 徴			・ゆるみが大きく景観が悪い。 ・隙間が大きく鳥害の懸念が。 ・割付作業が必要。 アイボルト 合成繊維ネット（網目 10mm）	・ゆるみがなく景観が良い。 ・隙間がなく、目視点検が可能。 ・設置面積の変更が容易。 先端拡張型注入孔付パイプアンカー スマートメッシュ（目合い 8mm×8mm）

点検

施工後の点検・メンテナンスも簡単

● 設置後の目視点検が可能

メッシュなのでコンクリートの劣化状況も目視確認できます。

<点検方法>

- ・メッシュシートの浮きや剥れ、パイプアンカー周辺を目視点検。
- ・定期点検で、パイプアンカーの頭部を通常の点検ハンマーで叩き、ゆるみの有無を確認
(スマートメッシュ設置部のコンクリートの点検は、繊維の損傷の可能性があるため、ゴムハンマー等を使用。)
- ・異常があった場合は、メッシュシートを切り取り適切な処置を実施。必要な場合はメッシュシートを再設置する。

【 適用条件及び留意事項 】

- ・パイプアンカーはコンクリート躯体が健全な箇所に打設してください。
- ・本工法は、コンクリート片のはく落を防止するものであって、コンクリート躯体を回復させる効果やコンクリート内部への劣化因子の進入や遮断効果はありません。
- ・施工後は、定期的な点検を行うとともに、早期にその他必要な対策の実施をお勧めします。
- ・スマートメッシュ工法は、専用部材と専用工具で施工してください。それ以外での施工については、性能保証いたしかねます。